

退任挨拶



昨年12月5日定例会において出川村長から退任のご挨拶がありましたので、ご紹介いたします。

12月24日の任期をもって退任いたしますが、在任中新島村の行政運営にご理解、ご支援賜りました議員の皆様、そして住民の皆様に心から感謝申し上げます。

自己財源一割の自治体で希望する事業が実施できなかった面も多々ありましたが、国や東京都、関係機関の温かいご支援のもとにインフラ整備等それなりに実施することが出来ました。関係機関の皆様にも心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

一般会計予算の目的別分類の中で長年約23%の総務費に次いで教育費と民生費を計上し、村づくりを進めてきたことは自分なりに納得した行政運営でありました。その一方で時代の推移は地方における定住化の仕組みを変え、私達の村でも若者の島外流出に拍車をかけ、少子高齢

化社会に変貌させてしまいました。

かつては長男は島に残り、家業を継いで、老いた両親の世話をすることが生活の仕組みでした。したがって、産業や暮らしにも厳しい環境ながらもバトンタッチによる継続発展があり、それなりの生活基盤が保たれてきました。近年は自分一代の思想に変わり、長年島に根づいて来た「受け継ぐ」という生活、暮らしの文化、島思想が消失しつつあることを残念に思っています。継続性を失った生活体系は弱体化し、島の産業、生活基盤まで変えてしまったのです。この現象は近年の主産業である観光にも及ぼしていますが、このような厳しい離島での暮らし、産業振興は私達だけでは解決できない難題であります。これがこれからの村づくりの大きな課題だと捉えてきました。後継者不足の空き家はこれからも急速に増加することが予測されますが、こういう時こそ行政、議会が一体となって時代背景をしっかりと分析、把握して知恵を出し合い、住民の皆様の協力のもとに、ふるさと自慢する共通理念を高めながら、あたらしい新島村を築かなければなりません。

ややもすると、多数の観光客が来島した過ぎ去った過去の数字を引用して汗をかかないパフォーマンス的な議論を致しますが、時代は明らかに推移しているのです。

古い感覚だったかもしれないが、今日迄若い頃描いた愛郷心を一途に追いかけてきました。が、これからはより斬新な感覚で新島村を捉え、時間は要するでしょうが、職員の努力で当面の基金も積み立ててありますので、有効に活用していただいて末永く安心安全に生活できる新島、式根島、新島村にしたい。だくことをお願いして、あととり達にバトンタッチ致します。

前田議長さんと共に議員の皆様もあととり達を温かく支え、ご指導下さってたくましいリーダーに育てて下さい。

「出る杭は打たれる」という諺がありますが、少子高齢化の狭い地域社会の中で、杭の打ち合いなどしては人は育たず、島は沈滞するばかりです。今、東京の島々が最も必要としていることは「出る杭」才能、手腕を伸ばす人づくりが求められているのです。

今日までのご協力に対しまして、重ねてお礼申し上げます。併せて、カモメ群れ飛ぶ太平洋はガキの頃から兄弟同士です。ふるさと新島村のさらなる発展を祈念して退任の挨拶とさせていただきます。長い間ありがとうございました。

出川長芳

※新村長の就任の挨拶は2月号に掲載する予定です。

新島村教育委員会委員の再任、委員長・委員長職務代理の選任

委員会の構成（平成25年12月17日現在）

職名	氏名	委員任期	備考
委員長	大沼 裕美	自 25.12.17 至 29.12.16	委員長任期 自 25.12.15 至 26.12.14
委員長職務代理	宮川 央行	自 22.12.23 至 26.12.22	委員職務代理任期 自 25.12.15 至 26.12.14
委員	池村 健一	自 24.11. 1 至 28.10.31	
委員	宮原 正夫	自 25.12.17 至 29.12.16	
教育長	宮川 平八	自 23. 6.29 至 27. 6.28	

村の教育委員会は、5名の委員によって構成されておりますが、このうち2名の委員の任期が、平成25年12月16日をもって満了いたしました。このため、村では、両委員の再任に係る同意議案を12月定例会に提出し、同意が得られましたので、12月17日再度両委員を教育委員会委員に任命いたしました。

また、教育委員会委員長及び同職務代理についても、平成25年12月14日で任期切れとなるため、12月教育委員会定例会で選任を行い、委員長には、これまで4年間に渡り務めていただいた池村健一氏に代わり、新たに大沼裕美氏が選任されました。委員長職務代理には、宮川央行氏が再選されました。

お台場くさや試食会



新島村の特産品である「くさや」を広く島外の方々に知って頂き、村のPRを行い観光客の誘致につなげていくため、焼きたての「くさや」の試食イベントが11月23日、24日にお台場海浜公園にて開催されました。新島・式根島の観光パンフレットの配布や特産品の販売等も行われました。

会場は晴天に恵まれ、2日間とも多くのお客様に足を運んで頂き、大盛況におわかりました。



▶新島小学校体育館にて



コーラスグループによるコンサート『言葉は静かに歌う』が、11月23日は式根島、翌日24日は新島にて開催され、子どもから大人まで楽しめるイベントとなりました。



▶式根島小学校体育館にて

ふれあいコンサートが開催されました

▶外観



改修工事の為、しばらく利用休止していた式根島開発総合センターですが、11月1日から利用可能となりました。住民の皆さん、ぜひご活用ください。

▶ロービー



完成しました！式根島開発総合センター

式根島で消火訓練



11月17日、式根島消防団では島内三方所で、住民を対象とした消火器・消火栓の取り扱い訓練を実施しました。参加された方々が積極的に訓練に取り組んでいる姿は大変印象的でした。

冬は西風が吹き、空気も乾燥してくる上に、暖房など火災の危険性が高まってきました。皆さん、火を使う時は十分気をつけてください。



瑞宝双光章受賞

平成25年秋の叙勲、瑞宝双光章を受賞した前田政夫さんに、受賞のお祝いとして村長から記念品が贈られました。

前田さんは42年間の長きに渡り警視庁に勤務し、警察功勞として瑞宝双光章を受賞されました。おめでとうございます。



交通功勞者に表彰状・感謝状

11月26日、平成25年度交通功勞賞につきの18名の皆さんが選ばれ、全日本交通安全協会会長などから感謝状などが贈られました。(敬称略)

【交通安全賞章緑十字銅賞】
山本 正人(新島)

【交通部長・東京交通安全協会会長連名感謝状】

▼長期無事故運転者金章

野口 義和(新島)
梅田 安夫(式根島)

▼長期無事故運転者銀章

青沼 甚弥(新島)
宮川 澄江(式根島)

▼一般優良運転者

佐久間 真(新島)

前田 とし子(新島)
宮川 敏昌(新島)
井上 惠市(式根島)
白井 竹雄(式根島)

【新島警察署署長・新島交通安全協会会長連名感謝状】

池田 清人(新島)
岩永 和徳(新島)
小川 政志(新島)
前田 利正(新島)
新島保育園(新島)

【新島警察署署長・式根島交通安全協会会長連名感謝状】

鈴木 良一(式根島)
田村 修一(式根島)
前田 澄子(式根島)

日本赤十字社から 災害救援用車両

日本赤十字社東京都支部より災害救援用車両が配備されました。

この車両は災害発生時に物資や人の搬送、独居高齢者の安否確認、その他、赤十字の活動等に使用させていただきます。

住民の皆様には、日頃から赤十字の活動にご協力をいただき、感謝申し上げます。

【問い合わせ】

民生課 民生係

☎(5)0243(直通)



地域の身近な相談相手 民生委員・児童委員

平成25年11月30日をもって、民生委員・児童委員の皆さんが任期満了になりました。これに伴い、民生児童委員推薦会を経て、12月1日から新たに3年間の任期で各地区の委員が選出されました。

新委員の構成は、2地区で委員の就任・主任児童委員の退任があり、その他の地区の委員の方は再任です。新任期は、平成25年12月1日から平成28年11月30日まで活動いたします。

退任は次の方々です(敬称略)。

・三丁目 前田 文子
・若郷 森田 房江
・主任児童委員 梅田喜久江
長い間お疲れ様でした。

民生委員・児童委員とは？

民生委員・児童委員は、日々の暮らしの中で困ったり、悩んだりしたことを相談できる方です。地域の住民の一員として、皆さんと一緒に生活しながら、皆さんの立場で心配事や困り事を解決するお手伝いをします。

子育てのこと、学校のこと、経済的なこと、なんでもかまいません。

秘密は守られますので、お気軽にご相談ください。

民生委員・

児童委員の皆さん

(会長◎、副会長○、敬称略)

◎一丁目 宮川 栄子(再)

☎(5)0477

・二丁目 梅田ふみ子(再)

☎(5)0362

・三丁目 横田まり子(新)

☎(5)0671

・四丁目 青沼 福代(再)

☎(5)0097

・五丁目 宮川 年子(再)

☎(5)1396

・六丁目 植松 亮子(再)

☎(5)0506

・若郷 宮川 里司(新)

☎(5)0731

○式根島 山本はる子(再)

北地区 ☎(7)0025

・式根島 前田 邦恵(再)

南地区 ☎(7)0329

※主任児童委員は、現在欠員です。

よろしくお願致します。

博物館だより

子ども学芸員発表会

11月7日（木）、9日（土）の2日間、新島小学校3年生が新島村博物館で、「子ども学芸員」の解説会を開きました。9日の午前中から準備に取り掛かり、11時から12時までの1時間に来館者は75人を数えました。自分たちで調べたことを大勢の来館者の前で堂々と元気よく発表しました。胸に自分の名前を書き込み、1階・2階の各コーナーを使って、礼儀正しくわかりやすい発表をしました。

来館された方々は、一生懸命理解しようと子どもたちの解説に耳を傾けていました。子どもたちにとっては、大きな自信になったものと思われまふ。子どもたちが地域を知るために調べたことが、来館された方々と確認し合うかのように共感する場面が見られ、充実した一日になりました。



秋の文化講演会

11月16日（土）新島村住民センターで、秋の文化講演会が開催されました。博物館の教育普及活動の一環として例年開催していますが、今回はエコミュージアムの研究をされている法政大学教授の馬場憲一氏をお招きし、ご講演をいただきました。

テーマは「新島遺産と島づくり」と題して、新島村の史跡や旧跡を紹介しながら、博物館を核にした新島全体をミュージアムにみなして自然や歴史を生かしたガイドができれば、観光客に対するサービスとして、島をより深く理解できるようなるのではないかと。また好印象が得られれば、リピーターとなつて観光客を増やすきっかけにもなるのではないかと。みなさんで考えて行こうという内容のものでした。文化財意識アンケートも行い、皆さん文化財に深い理解をもっていることがわかりました。



五島をつなぐ大島支庁だより

No.13

新島村の皆様、新年あけましておめでとうございませす。年頭にあたり謹んでご挨拶申し上げます。

新島村のご協力により、一昨年1月より開設いただきましたこのコーナーも丸2年を迎えることができました。私たち支庁の仕事は住民の皆様にご理解いただく一助となつたと考えております。

さて、昨年10月16日未明、台風第26号に伴う、かつてない大雨により、大島元町地区において大規模な土石流が発生し、死者35名、行方不明者4名（平成25年12月10日現在）、家屋等被害約400戸に及ぶ未曾有の大災害が発生しました。新島村の皆様におかれましても、台風被害の恐ろしさを改め

て痛感するとともに、自然災害に対する防災意識を強く持つきっかけとなつたのではないのでしょうか。

このような状況を踏まえ、本年においても、大島支庁は新島村と連携し、台風などの風水害をはじめとして地震や津波などの自然災害から住民の皆様の安全を確保する取り組みを強化するとともに、住民の皆様の自立的発展のために各種事業に全力で取り組んでまいります。

最後に、新しい年が皆様にとつて健やかで希望に満ちた一年でありますように、心からお祈り申し上げます。

大島支庁長

高本 賢司